

=====

◆◇「犯罪からの子どもの安全」メールマガジン vol.10 ◇◆
2009年6月26日号

=====

このメールマガジンでは、(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(以下、RISTEX)「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域が領域の活動報告をはじめ、各種イベント案内、国の取組み、問題に取り組む人々の紹介など、犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を毎月一回程度配信しております。

次回から配信を希望されない方、登録情報を変更したい方は、末尾をご参照下さい。

メルマガについてご意見やご感想、こんな情報が知りたい、こんな取り組みを行っているなど、皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆ INDEX ◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート
—警察政策学会主催 第12回シンポジウム
「ネット社会の課題」—サイバー空間に潜む危険と安全対策—
参加レポート
2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ
3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング
今月一番注目されたコンテンツとは・・・

◆◆◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート

みなさんこんにちは！

6月も後半に差し掛かり、梅雨の真ただ中、いかがお過ごしでしょうか。梅雨と言えば、「ジメジメ」、「ムシムシ」などの言葉に代表されるように、あまりいいイメージはないかもしれませんが、次に来る「夏」という季節を迎えるためのチャージ期間と考えると、少し気分が晴れてきますね。

4月に開始した平成21年度の研究開発プロジェクトの提案募集が6月9日(火)に締め切りを迎えました。今年は全部で29件と、昨年度を少し上回る数の応募があり、現在選考の最中です。今秋には、新規採択プロジェクトが決定します。どのようなプロジェクトが新たに加わるのか、今から楽しみです。

また、今月中旬には、当領域の2つのプロジェクトの若手研究者2名が企画・主催している、都市防犯研究会の講演会が開催され、領域担当が参加してきました。プロジェクト間の交流をはじめ、当領域の直接の関係者で

ない方々も加わった積極的な議論が交わされ、大変有意義な会でした。

この同日に、警察政策学会主催のシンポジウム「ネット社会の課題ーサイバー空間に潜む危険と安全対策」が開催され、参加してきました。法制度、官民連携、グローバル化などの視点から議論が展開。今号では、そのレポートをお届けします。

ぜひご覧ください。



●6月19日(金)開催
警察政策学会主催 第12回シンポジウム
「ネット社会の課題」ーサイバー空間に潜む危険と安全対策ー
(東京都千代田区 グランドアーク半蔵門) 参加レポート

子どもの安全を考える上で、最近何かと話題に上り、外せないキーワードとなっている「サイバー空間」における犯罪についてのシンポジウムが警察政策学会の主催で開かれるということで、参加してきました。

プログラム等の詳細については、警察政策学会のホームページをご覧ください。
→ <http://www.asss.jp/>

最初の基調講演では、法学者としての視点から、ネット社会の歴史や負の側面などについて、切り込んだ話がなされました。

負の側面の代表的なものに、詐欺、著作権侵害、サイバーテロなどのネット犯罪があります。これについては、ネットは新しい技術ということもあり、法整備が十分でなかったり、違法とそうでないものの線引きが明確でないということもあるため、警察だけでは対応できない部分もあるようです。

そこで話題に上ったのが、官民の連携の重要性についてです。民間の組織の中にも、ハード、ソフト両面で優れた力を持っているところがあるので、官民が適切に任務分担・連携して対策に当たることが重要とのことでした。さらに、そういった負の側面から青少年を守ることは、日本の将来にとって、決定的に重要であるとの見解が述べられました。

ネットは歴史的に見ればまだまだ新しく、その新しいものに対応できる組織や人材育成が必要で、そこにはコストをかけるだけの重要性があるとの発言もあり、ネットの遂げる進化に法整備が追いついていない現状の打破に向けて、さまざまな動きはあるものの、まだまだ問題が山積している様子が窺えました。

続いて行われたパネルディスカッション「ネット利用の実態～違法・有害情報対応の現場から見えてくるもの～」では、警察庁をはじめ、大学や企業の方など、産学官の様々な立場の方がパネリストとして登壇され、現場に関わる方ならではの臨場感ある非常に興味深い議論が展開されました。

その中でも多くの方が言及していたのが、ネット社会と子どもの関わりについてでした。これだけネットが生活に浸透している中で、ネットから子どもたちを遠ざけるのは難しく、現実的ではありません。しかし、違法・有害情報など、子どもたちにとって良くない影響を及ぼしうる情報が氾濫しているのも事実です。そのような情報の実態と問題点にも焦点が当てられました。

実態については、ネットサーフィンをしていくうちに、いかに簡単に違法・有害情報を含むサイトに辿り着いてしまうかの実演が行われ、そういうサイトがあることを知ってはいたけれども、すぐ隣り合わせにあるという現実を実感

しました。

また、子ども自身も、フィルタリングの規制を解除するためや、大人やサイト監視者の目をすり抜けるためにいろいろな手法を取り入れているとのことで、「子どもは被害者だから守らなければ」という気持ちだけではどうにもならないこともあるので、死角をなくすことが重要との指摘もなされました。

問題点としては、違法・有害情報は国内ではなく、海外のサーバーに置かれていることも多く、国内では違法でも海外ではそうではない場合もあり、被害者の人権を救済しようにも手が出せなかったり、言語が違うため、海外の当局が内容の違法性を判断できなかったりする場合もあるとのこと。

ウェブカメラを利用したライブチャットと呼ばれる新しい手法では、記録が残らないので、わいせつな画像が提供されていたとしても、公然わいせつ罪の適用がせいぜいであるといったことも問題の一つとして挙げられました。

また、出会い系サイトにおける被害については、改正出会い系サイト規制法など、さまざまな対策の効果もあり、減少傾向を示しているそうですが、その一方で非出会い系サイトでの被害は増加しているとのこと。これは、悪質なサイトとそうでないものの仕切りがなくなってきたため、「新たな問題の出現」→「対策の実施」というサイクルはたちごっこだそうです。

そのような中でどのように子どもを守っていくかは重要な課題です。ネットの使い方について、親子間での取り決めがある家庭はほとんどないとの調査結果が紹介されていましたが、かのビルゲイツも、家では子どもには時間制限を設けてパソコンを使わせているとのこと。

家庭内で問題意識を共有し、正しい使い方を伝え、ネットを使いこなせる子どもに育てていくことが大切であるとともに、サイバー空間であっても、現実の対人関係の質の問題が反映されているので、現実がしっかりしてこそそのものであるとの鋭い意見も提示されました。

問題が生じたときに、「禁止」や「制限」だけではなく、それを乗り越えるため、自分で考えて行動できる力を養うことの重要性を実感した一幕でした。これは、ネット問題に限らないかもしれませんが……。そのためには、子どもたちに教える立場にある大人からまず行動を起こすことが求められているのかもしれません。

(領域担当 S.F.)

2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ

【更新情報】

●国の取組み

平成21年版「犯罪被害者白書」(H21.5.22閣議決定)を公表しました
(内閣府)

<http://www8.cao.go.jp/hanzai/whitepaper/index.html>

第2回風俗行政研究会について[議事概要][配布資料](警察庁)

【議事概要】<http://www.npa.go.jp/safetylife/hoan1/proceedings-2.pdf>

【配布資料】<http://www.npa.go.jp/safetylife/hoan1/material-2.pdf>

法制審議会民法成年年齢部会第13回会議・議事録（法務省）
<http://www.moj.go.jp/SHINGI2/090327-1.html>

平成21年度版「科学技術白書」（閣議決定）（文部科学省）
http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpaa200901/1268148.htm

児童相談所運営指針等の改正について（厚生労働省）
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv34/index.html>

平成21年度「児童虐待防止推進月間」の標語の募集について（厚生労働省）
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/05/h0520-1.html>

その他の取組みについてはこちら
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>

●イベント情報

平成21年6月28日 早稲田大学まちづくりシンポジウム2009
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jigaku/>

平成21年7月4日～ 日本子ども社会学会 第16回 学会大会
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscs2/>

平成21年7月11日 平成21年度目白大学夏季公開講座
「学校への携帯電話持ち込みを考える」
http://www.mejiro.ac.jp/event/event2009/090711_kyouiku.html

平成21年7月22日 第5回「学校の安全・危機管理セミナー」
－犯罪や災害から子どもの命を守る－
<http://www.njp.co.jp/gakuan/sub04.htm>

平成21年7月23日 「犯罪から子どもを守る司法面接法の開発と訓練」
プロジェクト講演会「英国警察における面接訓練の展開」
(レイ・ブル教授 講演会)
<http://child.let.hokudai.ac.jp/event/?r=28>

平成21年8月28日～ 第28回日本思春期学会総会・学術集会
<http://www.adolescence.gr.jp/saishin/saishin.html>

平成21年9月12日～ 日本子ども学会 第6回子ども学会議シンポジウム
「子ども・環境・脳科学」
<http://www.crn.or.jp/KODOMOGAKU/act/index.html>

平成21年9月19日～ 日本安全教育学会第10回記念大会
<http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/20090919.pdf>

その他のイベントについてはこちら
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/event/>



【今月の見どころ】

今月の見どころは、トピックスに掲載した、子どもの携帯電話所持に関する新聞記事です。

この記事は、当領域の領域アドバイザー藤川大祐千葉大学准教授による寄稿で、今月上旬に日本経済新聞に掲載されたものです。

「『禁止』より向き合う姿勢」というタイトルで、子どもの携帯電話所持についての対応策や国の規制の在り方やマスメディアに対する鋭い意見が述べられています。

藤川大祐千葉大学准教授寄稿記事「『禁止』より向き合う姿勢」

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/int07.pdf>

3. 「犯罪からの子どもの安全」ウェブサイトアクセスランキング

【アクセスランキング】

- ☆ 1位 平成21年度募集要項（全体）
http://anzen-kodomo.jp/pdf/guideline_h21_all.pdf
- 2位 第2回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム予稿集
<http://anzen-kodomo.jp/pdf/col04.pdf>
- 3位 イベント情報
<http://www.anzen-kodomo.jp/event/>

「犯罪からの子どもの安全メールマガジン」

▼メールマガジンに関する各種変更、配信登録・解除はこちら

<http://www.jst.go.jp/melmaga.html>

▼ご意見・ご感想、お問い合わせはこちら

c-info@anzen-kodomo.jp

■発行日 2009年6月26日

■発行元

(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域

領域WEBサイト <http://www.anzen-kodomo.jp/>

社会技術研究開発センターWEBサイト <http://www.ristex.jp/>
